

市民協働事業 相互評価シート

市民協働事業の概要

事業名称	とつか区民活動センター運営事業	
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 くみんネットワークとつか
	行政	横浜市
事業の目的	市民活動、生涯学習活動及びボランティア活動の支援を通して、市民の理解と参画のもとに、区民力の向上と豊かな地域づくりを図る。	
事業の内容	団体と行政が協働でとつか区民活動センター及び戸塚区役所3階情報コーナーにおいて次の事業を実施する。 (1) 活動団体のネットワーク化 (2) 活動の支援 (3) 地域・利用者の声をセンターの運営に反映させる仕組みづくり (4) 場の提供 (5) 情報の提供 (6) 企画事業の実施	
役割及び責任 分担等	協働契約書第8条の規定に基づき、次に掲げる役割を分担し、その役割についてそれぞれの責任で事業を行なう。	
	事業項目	受託者の役割
	委託者の役割	
	受託者・委託者が共に果たす役割	1 事業運営に関する情報共有 2 定期的な共同会議の開催 3 第三者（利用者・事業運営評議会等）の意見や提案についての協議・検討
	事業全般に関すること	1 事業への市民認知度を上げるための広報活動等 2 相談スタッフのスキルアップを図るため、スタッフ間の情報共有及び研修機会の提供
	活動団体のネットワーク化	1 認知度を上げる広報活動等への協力 2 スタッフへの研修情報提供
	活動支援（相談・コーディネート等）	1 関係機関との連絡調整 2 ネットワーク構築及び推進に必要な情報提供
		1 適切な相談対応により市民ニーズや課題を把握 2 把握したニーズや課題に応じて次の事項等を行うことによる市民の課題解決の手助け
		1 市民活動支援のための助成金等の情報提供 2 市民ニーズや課題解決に必要な情報を受託者とともに的確に把握し、事業運営に反映

			(1) 情報提供 (2) 適切な機関や人につ なぐ (3) 活動団体の立ち上げ (4) 新たなしくみの構築	
	場の提供		1 わかりやすく、利用し やすいルールづくり 2 利用しやすい雰囲気づ くり	1 施設の利用方法等につ いて受託者と協議 し、方針決定
	情報の提供		1 市民活動等に関する情 報をより多く収集し、市 民や行政に提供 2 広報紙の発行 3 ホームページを開設 し、市民活動等の情報提 供	1 区広報紙面の確保 等、広報機会の協力 2 行政にかかわる情報 を受託者に提供、共有 し、事業運営に協力
	企画事業の実施		1 活動入門事業の実施 2 ネットワーク事業の実施 3 スキルアップ事業の実施 4 その他活動支援につな がる事業の実施	1 事業実施支援
実施期間	令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 3 1 日まで			

記入日	令和 3 年 4 月 12 日
記入者	・団体等名： 特定非営利活動法人 くみんネットワークとつか ・記入責任者 氏 名： 中嶋 伴子 連絡先： 045-825-6773
	・部署名： 戸塚区地域振興課 ・記入責任者 氏 名： 岩崎 広之 連絡先： 045-866-8416

事業評価相互検証シート

事業の計画づくり

(協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・協働契約書の仕様書の内容に基づいて年間事業計画を策定し、事業開始前に共有できた。
- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う施設運営の変更は、お互い真摯に協議を重ね、混乱することなく状況に合わせて対応することができた。また、講座やイベントについては、コロナ禍でも中止することなく実施できる計画をセンターから提示し、区の協力を得ることができた。
- ・戸塚区地域施設間連携促進事業においては、区役所内の3つの所管（地域振興課生涯学習支援担当、同区民利用施設担当、福祉保険課事業企画担当）と連携し、顔の見える関係作りから一歩進んだ連携促進への計画づくりを進めることができた。

【今後改善が必要と思われること】

- ・地域施設間連携促進事業のように、区役所内の複数の所管と連携し計画を進める事業においては、今後も、情報の共有を図り、事業の目的を明確にすることが、スムーズな計画作りのために必要である。

事業実施

(協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・定期的なスタッフ会議や三者（センター、法人、区）連絡会の開催により、スムーズな情報共有ができ、事業の実施をスムーズに行うことができた。
- ・第11回「とつかお結び広場」は専用のHPを作成し、You Tube を使った映像配信による活動紹介を行った。お互いに新しい活動紹介の手法として有効と考え、今後も継続して実施することを共有した。
- ・スキルアップ講座「団体の未来を考えた「お金」の活かし方」では、前半では、主にセンターが担当し、「助成金獲得を通じて考える団体の未来」の講義とワークを行い、後半は、戸塚区の補助金について区の担当者から直接、具体的な説明を行った。企画の段階から意見交換を重ね、役割分担を明確にしたなかでも、互いにアドバイスやサポートを行いながら事業を実施することができた。

【今後改善が必要と思われること】

- ・今後も日頃から良好なコミュニケーションを心掛け、困ったときは助け合える協働パートナーとしての関係性を維持していくことが必要である。
- ・「第11回とつかお結び広場」は、コロナ禍で協働での実施ということが薄れてしまったが、改めて三者（とつか区民活動センター、運営委員会、戸塚区役所）協働のもと事業を推進する方法を検討していきたい。

事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

- ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う施設運営の変更や講座、イベントの開催内容の中止、変更が余儀なくされたが、協働による話し合いや検討を繰り返し、混乱することなく運営することができた。また情報共有を密に行い、新しい手法に挑戦し、一年間の事業を実施することができた。
活動者にとっては、「第11回とつかお結び広場」のWEB開催により、オリジナルの活動動画を作成することができ、広報手段が広がるきっかけとなった。また、スキルアップ講座「Zoom 開設講座」により、オンラインでのミーティングや講座の開催の実施など、新しいスキルを身に付け、今後の活動方法の幅が広がる機会となった。
センタースタッフにとっても、Zoom や YouTube、動画編集などを取り入れ、新しい事業企画につながる成果となった。